

2022年10月12日

輸送動向について（2022年度上半期）

1. 輸送概況

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷に加えて、8月の北海道・東北・北陸地区を中心とした大雨に伴い一部不通区間が生じた影響により、積合せ貨物、家電・情報機器、食料工業品、他工業品を除く品目で前年を下回った。

エコ関連物資は、建設発生土の輸送が2021年7月に終了したため前年を下回った。農産品・青果物は、北海道地区において玉葱が前年の夏季干ばつによる作柄不良に伴い低調に推移したほか、野菜類が大雨による災害影響等により減送となった。紙・パルプは、紙需要減に伴う生産減により前年を下回った。

一方、積合せ貨物は、2021年10月からのブロックトレイン運転開始等により前年を上回ったほか、家電・情報機器は、エアコンの需要回復や前年に山陽線が不通となっていた反動等により増送となった。コンテナ全体では前年比99.2%となった。

車扱は、石油が新型コロナウイルス感染症の影響緩和によりガソリンを中心に前年を上回った一方、石灰石は前年を下回った。車扱全体では前年比102.8%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比100.2%となった。

2. 輸送実績

種別 扱別	上半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	8,894	8,968	99.2%
車 扱	3,579	3,481	102.8%
合 計	12,473	12,450	100.2%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	603	656	-53	91.9%
	化学工業品	791	791	0	100.0%
	化学薬品	608	614	-6	99.0%
	食料工業品	1,490	1,468	22	101.5%
	紙・パルプ	1,004	1,036	-32	96.9%
	他工業品	636	625	11	101.7%
	積合せ貨物	1,534	1,469	65	104.4%
	自動車部品	309	316	-7	98.1%
	家電・情報機器	173	149	24	116.4%
	エコ関連物資	212	267	-55	79.2%
	その他	1,535	1,578	-43	97.3%
コンテナ計	8,894	8,968	-74	99.2%	
車 扱	石油	2,435	2,303	132	105.8%
	セメント・石灰石	554	616	-62	89.9%
	車 両	356	354	2	100.5%
	その他	234	209	25	111.9%
	車 扱 計	3,579	3,482	97	102.8%
合 計	12,473	12,450	23	100.2%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)